

世界自然遺産登録 20 周年 記念シンポジウム

～世界自然遺産と地域のあゆみ～



2025 年 11 月 13 日 [Thu] 13:00 ～ 16:00

斜里町公民館 ゆめホール知床 公民館ホール

料金

無料

参加方法

予約不要、現地に直接お越しください

対象

どなたでも

お問合せ

0152-26-7665（公益財団法人 知床財団）

オンライン配信も
実施します



主催：公益財団法人 知床財団

共催：知床国立公園 60 周年・世界遺産 20 周年記念事業実行委員会

後援：知床世界自然遺産地域 科学委員会・知床世界自然遺産地域連絡会議

開催概要

知床は 2005 年、日本で 3 か所目の世界自然遺産に登録されました。

以来、科学的知見と地域参画を両立させた「知床方式」による保全管理は、全国のモデルとして定着しています。登録から 20 年を迎える今、人口減少や環境変化など新たな課題の中で、自然と地域社会の関わりが改めて問われています。本企画では、観光や漁業など地域のくらしと産業に深く関わる方々が登壇し、この 20 年の歩みを振り返りながら、知床の自然が地域にもたらす価値や今後の地域のあり方について議論します。

プログラム

開会挨拶

山内 浩彰 氏 [斜里町長]

基調講演



地域とあゆんだ
世界自然遺産登録 20 年

黒田 芳人 氏

[北海道環境生活部 自然環境局
自然環境課 主査 (知床遺産)]

千葉県出身。大学卒業後、東京の旅行会社に勤務し、2020 年に北海道へ移住。環境省稚内自然保護官事務所で国立公園の利活用推進等に従事。2022 年、北海道庁入庁。道有林管理や自然環境行政を経て、2025 年より現職。

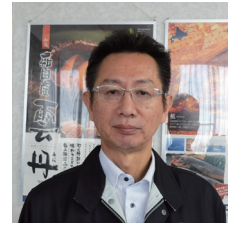


知床観光の 20 年

河井 謙 氏

[一般社団法人知床しゃり 専務理事]

大学時代に知床に通い、そのまま斜里町役場に就職。3 年半は自然環境、15 年は商工観光を担当。知床の魅力を活かした持続的な地域づくりに貢献するべく、2024 年に役場を中途退職し、行政と民間の中間的な同法人に移籍。



地域産業としての
漁業とその変化

任田 勉 氏

[羅臼漁業協同組合 参事]

豊頃町出身。北海道漁業協同組合学校を卒業後、2019 年羅臼漁協入所。総務部長、信用部長、指導部長等を経て、2021 年 4 月より参事。趣味は土いじり。千島桜や紅葉を鉢植えに育て鑑賞している。

パネルディスカッション

世界遺産と地域の 20 年 ～これまでとこれから～

登壇者①



湊屋 稔 氏

[羅臼町長]

現羅臼町長。家業の有限会社湊屋漁業で漁師をしながら 1999 年有限会社らうす海洋深層水代表取締役就任。2007 年から羅臼町議会議員を 8 年間務め、2011 年知床羅臼町観光協会副会長、2013 年から 2 年間会長を務め、2015 年から町長に就任し現在 3 期目。

登壇者②



増田 泰 氏

[斜里町 副町長]

現斜里町副町長。知床博物館で 13 年学芸員として勤務し、2005 年から 3 年間自然保護係長。その後、知床財団で 10 年勤務。役場で環境課長、総務部長を経て現職。大阪府出身の獣医師。

登壇者③

河井 謙 氏 [一般社団法人知床しゃり 専務理事]

登壇者④

任田 勉 氏 [羅臼漁業協同組合 参事]

札幌シンポジウムに向けたまとめとコメント

WEB 参加

愛甲 哲也 氏 [北海道大学教授・科学委員会座長代理]

司会



村田 良介 氏

[公益財団法人知床財団 理事長]

公益財団法人知床財団理事長。知床博物館学芸員、斜里町環境保全課長、教育長などを経て現職。環境保全課長時代には「世界遺産登録」を担当。知床の海と沢と山をこよなく愛す。

閉会挨拶

湊屋 稔 氏 [羅臼町長]